

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
建築学科											
設計製図 2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	小林猛			実務 経験	有	職種	不動産会社で開発業務に従事				
授業概要											
建築図面の機能と読み方、図法の種類について基礎的な事項を学ぶとともに設計製図の知識を独立住宅などの設計演習課題を通して学びます。											
到達目標											
次の3点を到達目標とする。①基礎伏図、床伏図、小屋伏図、軸組図など写図より、木造建築の構造図を理解する。【木造建築の構造図の理解】②敷地から周辺環境を読み取り、コンセプトを検討し、適切な平面計画を導き出せるようにする。【住空間の設計手順】③住空間に必要な寸法計画を身につける。（部屋の大きさ、設備機器、家具の大きさなど）【スケール把握】											
授業方法											
アイデアを練り、講師・教員と対話し、図面を描き、模型をつくり、発表する、という形式で授業が行われる。周辺環境の読み取り、住空間のスケール感覚を養いながら、木造2階建住宅の設計・表現力を身につける。											
成績評価方法											
授業態度、平常点、提出物などを総合的に判断する。											
履修上の注意											
設計は広範にわたる建築分野の基礎をなす科目の一つである。授業時間中の指導、講義、作業に加えて、それ以外の時間での思考、検討、作業など個々の目的に合わせて効果的に配分し取り組むこと。授業には集中して取り組み、課題提出期限を守ること。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。日本工学院授業心得（学生用）を守ること。											
教科書教材											
建築製図基本の基本学芸出版社、第3版 コンパクト建築設計資料集成 丸善											
回数	授業計画										
第1回	オリエンテーション、木造平家建住宅の基礎伏図、床伏図 (S=1/50)の作図方法を理解し作図できる。										
第2回	木造平家建住宅の小屋伏図、軸組図 (S=1/50)の作図方法を理解し作図できる。										
第3回	家型空間の設計課題のエスキース模型 (S=1/50)制作を理解し作図できる。										

第4回	家型空間の設計課題の模型 (S=1/50) 制作を理解し作図できる。
第5回	家型空間の設計課題の模型 (S=1/50) 制作および図面作図方法を理解し作図できる。
第6回	木造2階建住宅の設計課題の課題説明、敷地見学し、課題内容を理解できる。
第7回	木造2階建住宅の設計課題のエスキースの手順を理解し作図できる。
第8回	木造2階建住宅の設計課題のエスキースの方法を理解し作図できる。
第9回	木造2階建住宅の設計課題のエスキースの改善方法を理解し作図できる。
第10回	木造2階建住宅の設計課題のエスキースら作図する方法を理解し作図できる。
第11回	木造2階建住宅の設計課題の配置図兼1階平面図の作図方法を理解し作図できる。
第12回	木造2階建住宅の設計課題の2階平面図の作図方法を理解し作図できる。
第13回	木造2階建住宅の設計課題の断面図・立面図の作図方法を理解し作図できる。
第14回	木造2階建住宅の設計課題の作図・模型制作方法を理解し作図・作成できる。
第15回	木造2階建住宅の設計課題のプレゼンテーション方法を理解できる。